

口内炎に対する3Mix-MP 法の効果

豊島敦哉¹ TOYOSHIMA Atsuya 渡辺幸男² WATANABE Sachio 辻中英章³ TUJINAKA Hideaki

¹ トヨシマ歯科口腔外科 〒618-0012 大阪府三島郡島本町高浜3-1-4-205
² 歯科ワタナベ医院 〒157-0065 東京都世田谷区上祖師谷1-35-13
³ 辻中歯科医院 〒569-0803 大阪府高槻市高槻町15-18

目 的

口内炎は比較的軽視，放置されがちであるが，長期に及ぶと子供に限らず大人でさえも痛みの症状は大きく，ときに摂食に支障をきたすことさえある。また，口内炎が長引くと悪性への転帰をたどる場合もあるので，早急に痛みを取って治癒させなければならぬ。しかし，その治療法としては痛みを伴う薬物塗布やレーザー，即効性の期待できない含嗽等が主で，患者にとってありがたくない治療法しかないのが現状である。

そこで今回われわれは3Mix-MP 法によって口内炎を早急に治癒に導けないかを試してみた。その結果，痛みをほとんど感じさせることなく，早急に治癒した症例を数多く経験したので報告する。

方 法

口内炎周囲粘膜をガーゼ，綿球，バキューム等でできるだけ乾燥させ，口内炎の中心部に口内炎の範囲を完全に覆うように3Mix-MP を塗布し，そのまま3分間程度留置させる。洗口をさせず，1時間程

度の間は飲食を避けるように指示し帰宅させる。

結 果 考 察

3Mix-MP を3分間置いた時点で，痛みはほとんど消失していた。傷口は2，3日後も存在するものの，全員が帰宅後から摂食可能で刺激痛もほとんどなかったという。口内炎は傷口に細菌が付着するため，機械的刺激を取り除いても治癒を妨げる大きな要因となる。レーザーや薬物塗布はいずれも殺菌効果を期待して行われるが，その刺激は結構強い。塗り薬，うがい薬等は痛みが少ないものの即効性の効果は期待できない。3Mix-MP の殺菌力は周知のとおりすべての菌を瞬時に殺菌，無菌にしてしまうので，痛みもほとんどない。その効果も直後から痛みが消失するので，摂食が可能となった。ただ3Mix-MP の使用は密封できる環境下での使用が必須である。外科用アロンアルファによる被覆も考えたが，かえって刺激を与えることになり，痛みなしに治療するという目的から逸脱してしまうので，あえて被覆は行わなかった。遮断しない環境下での使用方法においても，口内炎のような表在性の細菌感染であれば，密封しなくても塗布後まもなく細菌が死滅



図1 下口唇の口内炎。ひどい痛みのために食事のままならないという。



図2 患部に3Mix-MPを塗布、直後に痛みがやわらいだという。

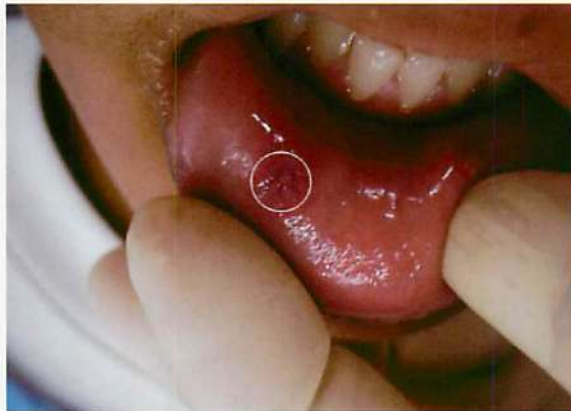


図3 翌日、痛みは全く消失。



図4 2日後。



図5



図6 翌日、大きさの変化は認められないが痛みは全くない。

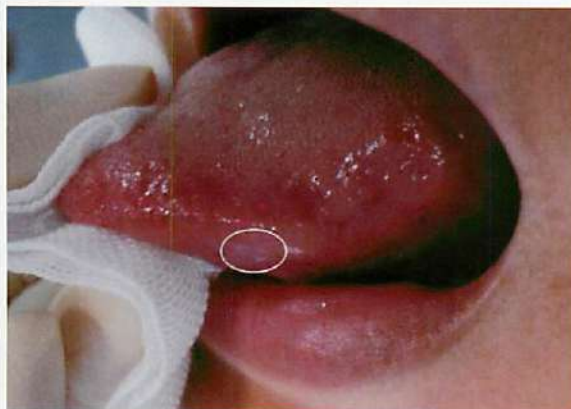


図7 4日後。



図8



図9 翌日.



図10



図11 5日後. 歯牙削合なし.

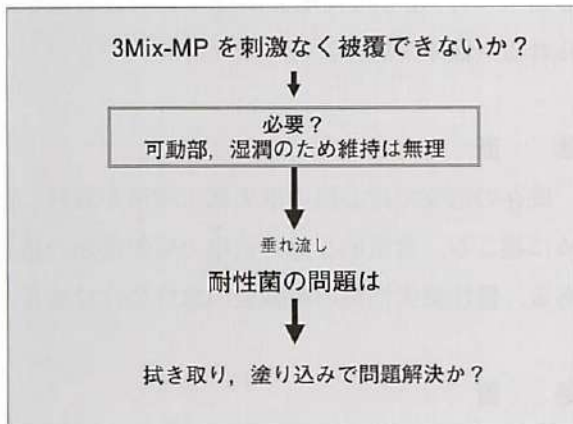


図12

したので、痛みは消失したと考えられる。

なお、星野先生、宅重先生より継続調査として、MP 単独での塗布結果との比較検討をするようすすめられているので、引き続き両方法を観察し、結果

が判明しだいご報告したい。

□